

榴ヶ岡市民センターとの共催で、戦前～戦後について学び、体験談を記録しながら、平和への想いを語り伝える方法について考えるワークショップを開催しました。全6回の講座の2回目を行いました。



語り継ぐ会会員の方の貴重な空襲体験のお話を聴き、「戦争」とは？「平和」とは？を考え、次世代へと伝え語り継ぐための学びの講座は今後も継続して行ってまいります。

今回の戦災復興展は、約2,000人以上の方々にご来場いただきました。

「生まれも育ちも仙台なので、ひとごとには思えませんでした。改めて戦争の残酷さを知りました。」
(20代男性)

「今の仙台のまちは復興計画なくて作られなかったのだと思うと、まちを歩くのにもろいろ考えながら歩くようになると思う。」(10代男性)

「いつ来ても気持ちを新たに、平和の素晴らしさを実感させられます。」(50代男性)

「このようなことを2度と繰り返してはいけない。忘れないことが必要だと強く感じた。」(40代女性)
などなど、10代の若い世代から70代～80代の戦争や仙台空襲を体験された方々からもたくさんのご意見、ご感想をいただきました。今回の戦災復興展にご協力いただきました皆さま、そしてご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

主催 / 仙台市

協力 / 仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ(戦災復興記念館指定管理者)

特別協力 / 宮城学院女子大学 大平聡研究室、仙台市立仙台工業高等学校模型部

後援 / 河北新報社、朝日新聞社、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、

産経新聞東北総局、日本経済新聞社仙台支局、共同通信社仙台支社、

時事通信社仙台支社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、

KHB東日本放送、Date fm 仙台、RADIO3、fm いずみ 797、エフエムたいはく